

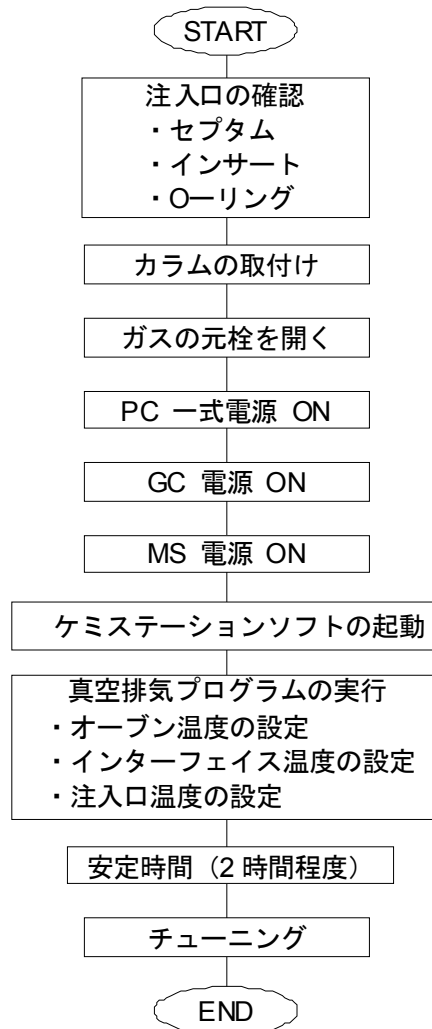


第1章 システムの立ち上げ方

1章-1 GCおよびMSDの電源を入れる	1-4
1章-2 ケミステーションソフトウェアの起動	1-5
1章-3 真空排気プログラムの実行	1-6
1章-4 チューニングファイルの選択	1-8
1章-5 メソッドの読み込み	1-9

システムの立ち上げ方は、Agilent ラボモニター・診断ソフトウェア（LMD）、ケミステーションに付属している「入門」ガイド、またはソフトウェアの User Information CD-ROM 等で確認することができます。

<システムの立ち上げ方>



第1章 システムの立ち上げ方

1章-1 GCおよびMSDの電源を入れる



- (1) 注入口セプタムとインサート、カラムが正しく取り付けられていることを確認してGCの電源を入れます。
- (2) MSDのサイドカバーを開き、サイドプレートを真空チャンバ側（正面から見て右側）へ押し付けながらMSDの電源を入れます。

1章-2 ケミステーションソフトウェアの起動



- (1) デスクトップ上のアイコン **5975SYSTEM** をダブルクリックしてケミステーションソフトウェアを起動します。

アイコンがデスクトップ上にはない場合には、タスクバーの[スタート]ボタンから、
 [プログラム]（[すべてのプログラム]）－ [MSD ChemStation]－ [機器 #1]
 － [機器名] を選択してソフトウェアを起動します。
 （ [機器名] は設定により異なります。下記の例では [5975SYSTEM] です。）



- (2) デフォルトプリンタの確認画面が表示された場合には をクリックします。



- (3) MS 温度設定画面が表示された場合には をクリックします。



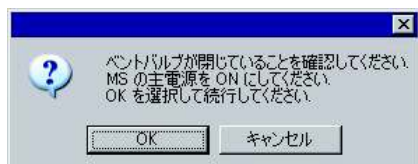
第1章 システムの立ち上げ方

1章-3 真空排気プログラムの実行

- (1) メニューから [表示] - [チューニングと真空制御] を選択します。
- (2) チューニングと真空制御画面のメニューから [真空制御] - [真空排気] を選択します。



- (3) MSD 本体のベントバルブが閉じていることを確認して **OK** を押します。



5975 ベントバルブ

- (4) イオン源の選択画面で [EI イオン源] を選択して **OK** をクリックします。



- (5) 真空排気の状態が表示されます。



- (6) ポンプの準備ができると下記のメッセージが表示されます。GC のキーボードからトランスファーラインの温度とオープン温度を ON にして **OK** をクリックします。



- (7) 安定時間の推奨メッセージが表示されるので **OK** をクリックします。通常、安定した定量結果を得るためには、さらに安定時間が必要です。



- (8) MS 温度設定の画面が表示されますので設定値を入力し、**適用(Y)** ボタンをクリックしてから、**OK** をクリックします。



注意

適用(Y) ボタンをクリックしないと設定温度が MSD にダウンロードされません。

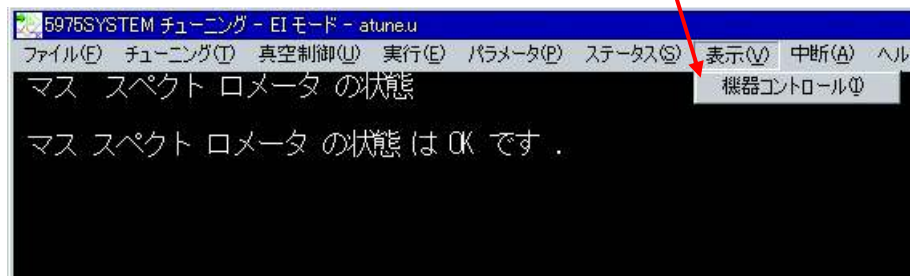
第1章 システムの立ち上げ方

1章-4 チューニングファイルの選択

- (1) 次にチューニングファイル選択画面が表示されます。使用するチューニングファイルを選択し をクリックします。通常 [atune.u] を選択します。



- (2) 「マス スペクトロメータの状態は OK です。」と表示されたら、メニューから [表示] - [機器コントロール] を選択して機器コントロール画面を開きます。

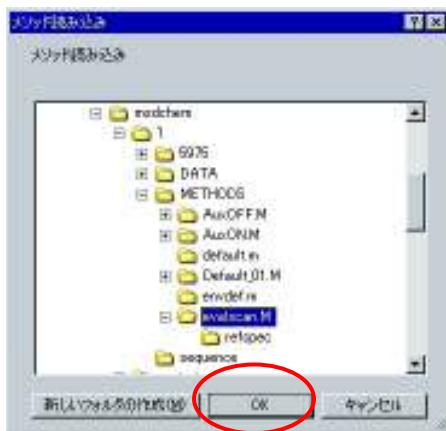


1章-5 メソッドの読み込み



(1) (メソッド読み込みアイコン) をクリックします。

(2) [メソッド読み込み] ダイアログボックスから使用するメソッドを選択し、
 をクリックします。



第1章 システムの立ち上げ方

